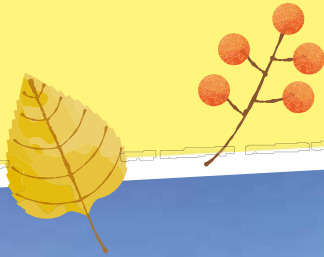


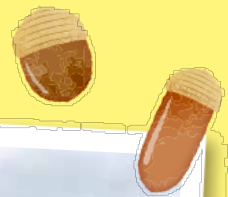


由布市 議会だより

No.60
2020年11月



イチゴの花(ベリーツ)とミツバチ



おいしいお米をありがとう



未来へ向かって走れ!

CONTENTS

● 令和2年第3回臨時会	概要	...	1～2
● 令和2年第3回定例会	概要	3～4
	議案質疑	5
	常任委員会報告	6～8
	決算特別委員会	9～10
	市政を問う(一般質問)	11～14
● 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等		裏表紙

令和2年 第3回

開会前、7月豪雨災害で犠牲になられた方々に対し弔意をあらわすため黙祷を捧げました。

承認第7号 令和2年度由布市一般会計補正予算(第6号)

(専決処分の承認を求めるもの。令和2年7月1日付)

歳入歳出予算に **3,473万2千円** を追加し、総額を **232億606万9千円** とする

使途の内訳 〈新型コロナウイルス緊急対策事業〉

ひとり親世帯臨時特別給付金	3,264万円
・児童扶養手当受給者	一世帯 5万円
・第二子以降	一人につき3万円
・2月以降収入が減少した者	一世帯 5万円(追加給付)

施設清掃管理における消毒追加委託料

- ・各町庁舎・公民館 209万2千円



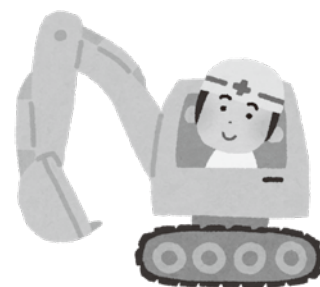
承認第8号 令和2年度由布市一般会計補正予算(第7号)

(専決処分の承認を求めるもの。令和2年7月8日付)

歳入歳出予算に **11億209万8千円** を追加し、総額を **243億816万7千円** とする

主な使途の内訳 〈7月豪雨災害に係る対応及び復旧対策事業〉

住家が罹災した方のための賃貸住宅借上料	934万5千円
災害廃棄物の管理・運搬・処理に係る事業費	2億8,930万7千円
農地・林道・市道等の応急復旧工事費	2億 412万3千円
農地・林道・市道等復旧に係る測量調査等委託料	5億9,172万 円



承認第9号 令和2年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)

(専決処分の承認を求めるもの。令和2年7月8日付)

使途の内訳 〈7月豪雨災害により水道施設を緊急修繕するため〉

収益的支出	1,655万円追加	総額を8億3,427万7千円(浄水場取水口や排水管の緊急修繕)
資本的支出	550万円追加	総額を6億4,194万8千円(損失した排水管の緊急工事)

由布市議会 臨時会 (令和2年8月7日)

議案第56号 令和2年度由布市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算に **3億7,097万7千円** を追加し、総額を **246億7,914万4千円** とする

主な使途の内訳

〈コロナウイルス対策関係〉

消防職員救急活動時における感染防止用ウェアの購入費	350万4千円
プレミアム率30%の商品券発行補助金(第2弾)	3,890万 円
新しい生活様式対応の環境整備をした中小企業者への補助金(上限10万円)	1億円

〈豪雨災害対策関係〉

災害用ブルーシート、土のう袋の購入費	412万5千円
住宅が全壊・半壊・床上浸水した世帯に対する支援金	3,600万 円
住家が半壊・大規模半壊等した世帯に対して市が応急修理を行うもの	1,195万 円
住居・家財に被害を受けた方に資金の貸付を行うもの(所得制限有)	1,750万 円

議案第57号 令和2年度由布市水道事業会計補正予算(第2号)

使途の内訳 〈7月豪雨災害により被災した水道施設を緊急改善するため〉

資本的支出 1,200万円追加 総額を6億5,394万8千円(仮配管箇所工事実施設計費)

議員からの質疑

質 今回の災害発生後職員の対応で振興局の方に本庁舎からの応援があったのか?

答 それぞれ現地確認で大変な状況だった。「オール由布市」との事で支援の職別に緊急業務援助の辞令を交付し支援した。

質 第1回のプレミアム商品券発行の時は沢山の人で密が守られなかった。災害にあった人は買いに来れなかったが対策は?

答 追加発行の分は、チラシを配り、切り取って申込できる。密にならない方法です。前回より2,000セット多く発行する。

質 中小企業者等の感染予防対策事業補助金10万円の内容は?

答 これまでも市内事業者は感染予防対策に取り組んで来られた。これからも発生予測されるので予防対策経費としての10万円。今回は市内事業者全てが対象です。

質 阿蘇野等、川が崩れて水不足の所が沢山あり、防火用プールも空の状態。火事や災害対策として把握してるか。

答 プールについては確認が出来ていない。早速確認を行い、消火栓との併用を考えたい。

質 今後、専決があるのか? 災害復旧の度合いで今後の見通しは?

答 応急的な処理は今臨時会で当面できると思う。今後の本復旧について、工事費予算計上は査定後の9月・12月議会になると思うが、緊急的に必要があるものは専決させていただきたい。

令和2年 第3回

今定例会では提案された報告5件、認定2件、諮問1件、議案12件、請願5件(1件取り下げ)、陳情1件を審議しました。そのうち、請願2件と陳情1件を継続審査とし、他を原案通り同意・認定・可決・採択としました。(審議内容については委員会報告P6~8参照)

さらに、議員発議として「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」が提出され可決されました。

18億5,191万6千円の追加補正予算(第9号)を可決

一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ18億5,191万6千円を追加し、予算総額は265億3,106万円になりました。

主な事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と新しい生活様式を踏まえた社会経済活動の両立を図るため、市独自の経済対策、7月豪雨災害から本格的な復旧・復興事業となっています。

補正予算の主要事業

【総務常任委員会】

- インターネット発信力強化推進事業費(市の公式アプリ「ゆふポ」のリニューアル)
- 指定避難所整備費(挟間庁舎4階及びエレベーター改修)



ゆふポ

【教育民生常任委員会】

- 放課後児童クラブや保育所・児童福祉施設の職員に対する慰労金の支給費
- GIGAスクール構想における家庭でのWi-Fi環境の整備に向けたモバイルルーター購入費

【産業建設常任委員会】

- 市民等を対象に、市内全ての宿泊施設での宿泊料金を70%割引く宿泊応援割事業補助金



由布市民がいればかなりお得に泊られます！

「由布市5千人宿泊応援割」で検索！

〈QRリンク先〉

<http://www.city.yufu.oita.jp/newly/shukuhakuouenwari/>

詳しくは
こちらの
詳細ページへ



- 道路・橋梁・河川の公共土木施設、農地・農道・水路等の農業用施設災害復旧事業費

由布市議会 定例会(令和2年9月9日～9月28日)

その他の主な議案等

【今議会の概要】

認定

- 令和元年度由布市一般会計及び特別会計並びに由布市水道事業会計収支決算(詳細は、P9～10参照)

承認

- 由布市みらいふるさと基金条例の運用状況に関する報告(総額で1億3,594万円の寄附があり、基金へ6,350万円積み立てをし、同基金より6,907万円を取り崩し各事業に充当)

可決

- 由布市汚泥再生処理センター整備工事請負契約の締結(条件付き一般競争入札により、契約金額20億1,300万円で水ingエンジニアリング株式会社と契約するもの)



【人事】

適任

- 人権擁護委員の推薦
(任期满了に伴う、由布市挾間町北方 梅野悦子氏の再任の推薦)

同意

- 固定資産評価審査委員の選任
(任期满了に伴い、由布市庄内町平石 麻生俊之輔氏の新任の同意)

同意

- 教育委員会委員の任命
(任期满了に伴い、由布市挾間町鬼崎 下村未央氏の新任の同意)

【条例改正】

可決

- 由布市督促手数料及び延滞金条例等の一部改正について

可決

- 由布市税特別措置条例の一部改正について

【補正予算 特別会計・事業会計】

可決

- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第2号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)、農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)、水道事業会計補正予算(第3号) ともに、主に令和元年度の繰越額の決定によるもの。

議案質疑

由布市みらいふるさと基金条例の運用状況に関する報告について

問 ふるさと納税1億3,500万円の寄付があるが、運用事業中の市長が必要と認める事業とは。

答 ふるさと納税寄付時に、特定の事業に対しての寄付ではなく、由布市全体としての寄付の場合の選択項目です。



令和2年度由布市教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価（令和元年度執行）報告について

問 由布市通学路安全会議に、どのように要望が上がり、どのような形で情報発信をされているのか。

答 6月・11月・2月と年3回通学路安全推進会議を開催しています。情報発信については、各学校への報告、市のHPに毎年3月に公表し、由布市PTA連合会でも報告しています。

問 由布市通学路安全会議への要望に対して改善の割合は。

答 令和元年度の要望が18件あり、そのうち5件対応完了している。



令和2年度由布市一般会計補正予算について

問 挟間庁舎元議場の改修工事について具体的な説明を。

答 挟間庁舎は避難所になっており、今後の新型コロナウイルス感染防止対策の避難所として元議場の改修を計画した。



問 新型コロナウイルス対策事業の特産品販売促進事業について。

答 大分県が大分県産品販路拡大及び商品のPR等を通じて、県内の地域活性化を図る目的として、楽天市場に開設しているオンラインショップ中に由布市の特産品販売コーナーを設置するもの。



問 被災農業者等支援金について。

答 令和2年7月豪雨によって被災された農業に携わる個人、団体の方も含め支援するもの。



総務常任委員会

由布市督促手数料及び延滞金条例等の一部改正について

租税特別措置法の改正により、由布市督促手数料及び延滞金条例など4条例において、「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に名称を改めるなど所要の改正を行うもの。

全員一致で原案可決



令和2年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出にそれぞれ18億5,191万6千円を追加し、予算総額を265億3,106万円にするもの。

<歳入>

普通交付税の3億6,365万4千円の増額と繰越金の8,597万7千円の減額については、交付額、決算額の確定によるもの。財政調整基金の6億1,829万1千円の減額は、本補正の収支の均衡を図るために減額。また指定寄付金として、全国より寄せられた7月豪雨に対する災害復旧支援金等。



<歳出>

新型コロナウイルス緊急対策事業の中で主な取り組みが3つ

①インターネット発信力強化推進事業 2,278万1千円

市の公式アプリ「ゆふポ」のリニューアルにより有事の際の災害発生情報や避難所の収容状況についても発信できる様に整備する事で、より正確な情報を迅速にインターネットで提供する体制を目指す。

②行政IT化 1,892万2千円

コロナ禍において市役所の窓口申請をオンライン化させるためのデジタル化推進事業費。

③総務管理 3,202万4千円

指定避難所として挟間庁舎4階及びエレベーター改修の整備費。

消防費について、エアコン改修工事費、35着の救命胴衣や人工蘇生システム1台の購入費。

挟間方面隊1-2鶴田地区消防団車庫新築とホース塔への補助金。

<委員より>

コロナウイルス感染症対策については3密を回避するよう徹底した対応、また災害情報については市民の方にもう一步踏みこんだ情報の可視化について積極的に取り組んでいただきたいとの強い意見があがった。

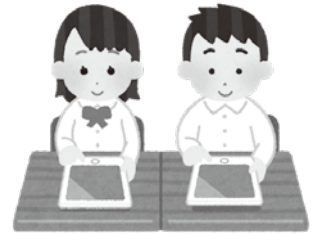
全員一致で原案可決

教育民生常任委員会

タブレット端末調達契約の締結について

小中学生全員にICTを活用した学習指導に一人1台端末の環境を整えるため、2,934台のタブレット端末の仮契約金額1億5,320万円を本契約とするもの。大分県が実施する共同調達の一般競争入札によるもので契約金額には、タブレット端末の操作研修費も含まれることを確認しました。

全員一致で原案可決



令和2年度由布市一般会計補正予算(第9号)



歳入の主なものは、教育費補助金1,303万3千円、児童福祉費補助金2,944万7千円。

歳出の主なものは、保育施設等従事者慰労金2,250万円、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る費用2,150万円、災害ボランティアセンター設置に係る経費負担金147万8千円、タブレットによる家庭学習用ルーター代654万5千円、教育指導費909万7千円、はさま未来館空調設備工事費9,564万円。

全員一致で原案可決

令和2年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

令和2年度由布市介護保険特別会計補正予算(第2号)

令和2年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

いずれも令和元年度決算に伴う補正が主なもの。

全て全員一致で原案可決



くすのき児童クラブを視察しました

産業建設常任委員会

令和2年度由布市一般会計補正予算(第9号)

歳出の主なものは、災害対応事業は、7月豪雨により被害を受けた農業用ハウス等の再建や修繕、農業用機械等の再取得や修繕等を支援する被災農業者等支援交付金3,000万円の増額。

災害対応事業の被災事業者再建支援事業補助金は、7月豪雨により被災した市内事業者に対し市独自の助成を行う2つの補助金1,500万円の増額。

新型コロナウイルス緊急対策事業(観光振興)は、市民を対象に市内すべての宿泊施設での宿泊料金を70%割引し、一人当たり最大で2万円を助成することに伴う宿泊応援割事業費補助金7,989万円の増額。

道路整備事業は、市道乙丸津江線において基幹事業としての道路整備と、一体的に行う効果促進事業である電線地中化事業が決定したことによる予算の組換え1,459万6千円の減額。

農業用施設災害復旧費は、農地等の災害復旧に伴う測量・設計費及び10月までに査定を受ける670件の復旧等工事費の7億6,838万4千円の増額。

公共土木施設災害復旧費の工事請負費は、11月までに査定を受ける道路・橋梁・河川123件に係る災害復旧工事費7億3,522万円の増額。

委員会として、新型コロナウイルス緊急対策事業(観光振興)については、より効果的な地域経済復興の支援となるべく、まちづくり観光局と連携して十分なPRを行うよう、また、農林整備課及び建設課に係る災害対応について、各課が連携を取れる支援体制を整え職員の業務負担を考慮しつつ、早期復旧に向けて事業を進めていくよう、担当課へ意見を付した。



全員一致で原案可決

令和2年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に120万円を追加し、総額を9,304万9千円とするもの。人事異動に伴う補正と、歳入における繰越金、及び歳出における積立金は令和元年度決算に伴う補正が主なもの。



全員一致で原案可決

令和2年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)

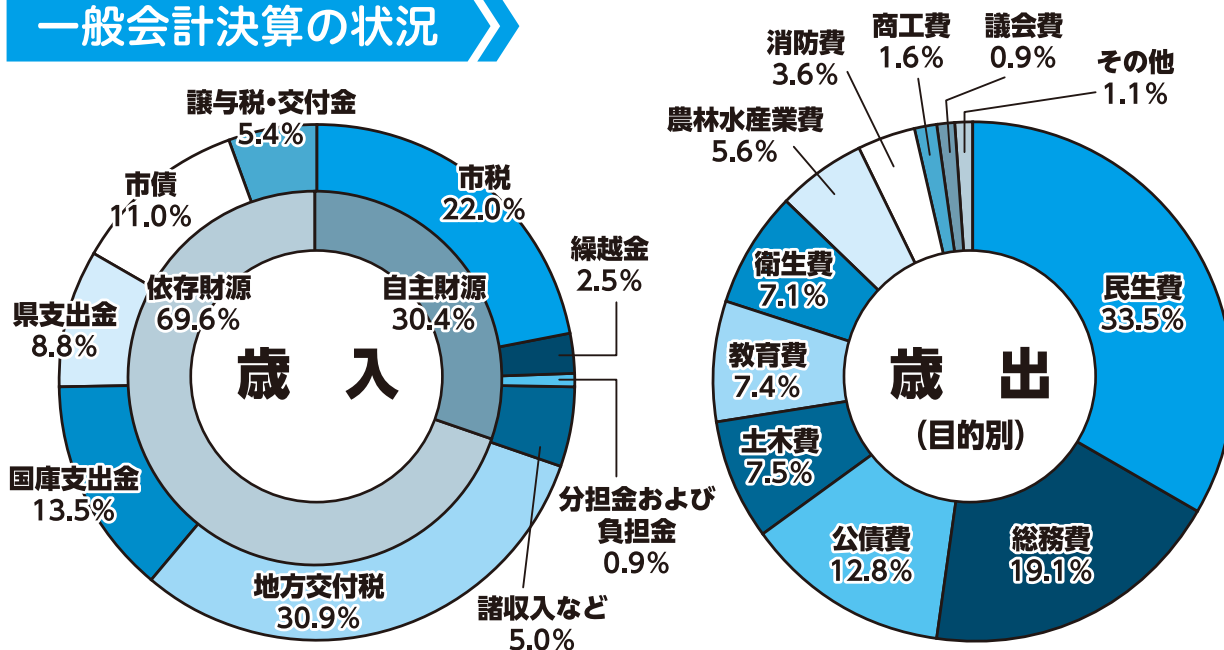
	補正額	計
資本的収入	4,662万5千円 減額	2億7,013万0千円
資本的支出	4,985万3千円 減額	6億0,409万5千円

建設企業債で、入札減と7月豪雨災害に伴う工事の延期による4,730万円の減額。請負工事費2,443万5千円では、災害に伴う工事費の増額と入札減や工事の延期に伴う減額が主なもの。

全員一致で原案可決

今定例会にて令和元年度の決算を審議しました

一般会計決算の状況



各項目の説明

歳入

自主財源・・・市の自主的な収入
 依存財源・・・国・県から交付されるお金
 地方交付税・・・自由に使える国のお金
 国庫支出金・・・用途が決まっている国のお金
 市債・・・市の借金

歳出

民生費・・・高齢者・障がい者・子育て支援や医療・介護保険など
 総務費・・・地域振興、庁舎管理、防災、税務など
 公債費・・・借入金の返済
 衛生費・・・母子健診、予防接種、浄化槽、廃棄物処理など

一般会計収支の状況

		令和元年度	平成30年度	対年度増減額
歳入総額	A	184億7,164万円	191億6,331万円	△6億9,167万円
歳出総額	B	179億1,745万円	183億8,843万円	△4億7,098万円
形式収支 (A - B)	C	5億5,419万円	7億7,488万円	△2億2,069万円
翌年度への繰越財源	D	1億2,017万円	1億4,093万円	△2,076万円
実質収支額 (C - D)		4億3,402万円	6億3,395万円	△1億9,993万円

一般会計決算の概要

歳入総額は**184億7,164万2千円**で前年度と比較すると**6億9,167万2千円(3.6%)**の減少となり、その主な要因は

- 地方消費税交付金等各種交付金の減
- 熊本・大分地震に係る災害復旧関連事業の減による国庫支出金の減
- 財政調整基金の取り崩し額の縮減に伴う繰入金の減
- 土木事業等で繰り越し事業を抑制できたことに伴う繰越金の減 などによるもの。

歳出総額は**179億1,745万5千円**で前年度と比較すると**4億7,098万2千円(2.6%)**の減少となり、その主な要因は

- 湯布院複合施設整備事業や公営住宅整備促進事業の増
- 健康温泉館事業特別会計の一般会計への移行に伴う健康温泉館利用促進事業の増
- 庄内公民館完成に伴う社会教育施設整備事業費の減
- 熊本・大分地震に係る災害復旧関連事業の減に伴う災害復旧費の減 などによるもの。

特別会計の概要

国民健康保険や農業集落排水等の特別会計について、歳入総額**93億7,459万6千円**、歳出総額**92億2,438万1千円**で形式収支額は**1億5,021万5千円**となった。

決算特別委員会として

歳入増に向けて新財源の確保、市税未収金と不用額、並びに繰越額の縮減などの取り組みを行う事で財政調整基金の取り崩しに頼らない事業執行に繋げ適正かつ効率的な財政運営に努めてほしいとの意見が出ました。

決算質疑

一般会計

【歳入】

問 固定資産税の不納欠損について

答 納入する場合は現金が原則、相続税についてのみ物納出来る(相続税法41条)。滞納処分をすることができる資産・財産が無い時やそういうものが不明である場合は、欠損処分を行う。

問 株式等譲渡所得割交付金の減について

答 特定株式等を譲渡する際に課税される県税の一部が交付されるもの。決算において見込みを下回った額が交付されたもの。

【歳出】

問 由布市に住みたい事業、移住支援金の執行率0%とは

答 この制度は就労マッチングサイトを利用した場合に、国・県・市といった形で助成するもの。令和元年10月予算補正したが、申請がなかったため。「星とびあ」で移住相談を行っていたが、今は休館中であり新たに地域おこし協力隊を採用し活動している。

問 個人番号カード交付事業の執行率56.4%の原因は

答 交付金上限額から決定通知額の差であり、3月31日現在由布市の交付数は4,479人。普及率は13.1%となっている。国は、令和4年末までに全員が持つよう計画している。今後も申請の数を増やしていきたい。

国民健康保険特別会計

問 特定検診・特定保健指導事業の委託料360万2,105円の不用額は、受診者の減少が原因か

答 特定健康検査の受診率を60%としたが、54.7%の実績となった。要因は国保加入者の減少。受診率については県下では3番目と一定の高い水準を維持している。

水道事業会計

問 総括事項の「財政状況は簡易水道と統合したことにより経営の悪化が見込まれるため早急に料金改定を行う必要がある」としているが、今後どのように対応を進めていくのか

答 平成30年度策定の『水道ビジョン』によって、現在料金改定に向け準備を進めているが、コロナ禍・7月豪雨災害の状況を鑑み、社会情勢を見極めながら進めていきたい。今後の対応として、支出において維持管理費のコストダウンを進めて行く。

一般

質問

市政を問う

- 平松 恵美男 議員 令和2年7月の豪雨災害からの復旧・復興について、他
- 吉村 益則 議員 災害対応、環境整備事業について
- 長谷川 建策 議員 新型コロナ対策、湯布院複合施設について、他
- 佐藤 孝昭 議員 由布市の令和2年7月豪雨災害について
- 田中 真理子 議員 防災・減災対策について
- 加藤 幸雄 議員 農業生産者に愛の手を差しのべませんか？ 他
- 坂本 光広 議員 7月豪雨災害について
- 加藤 裕三 議員 災害時の迂回道路、砂防ダム整備について
- 田中 廣幸 議員 7月豪雨対応、コロナ禍における学校対応について
- 甲斐 裕一 議員 長期休校に関わる学校問題について、他
- 瀧野 けさ子 議員 コロナ禍におけるインフルエンザ予防接種について、他
- 佐藤 郁夫 議員 新型コロナウィルス対策、豪雨災害対策について
- 高田 龍也 議員 農政事業、令和2年豪雨復興について、他
- 鷲野 弘一 議員 7月豪雨災害における沢と中部林道の因果関係、復旧について
- 太田 洋一郎 議員 市道水地線の改修、並柳の水源地周辺のメガソーラーについて



平松恵美男 議員

令和2年7月の豪雨災害からの復旧・復興について、他

- 問** 向原野田線、黒川橋の復旧・復興状況と今後について
- 答** 現在、公共土木施設災害復旧事業査定定の準備を進めている、査定後に橋梁に係る地質調査や詳細設計を行い、令和3年度の渇水期に工事着手し令和3年度末完成に向け取り組む。
- 問** 農地の復旧計画について
- 答** 国の災害復旧事業の対象となるものについては、関係者より耕地災害復旧工事申請書を提出していただき、査定設計書を作成し9月28日から12月まで査定を受ける予定、査定で申請が認められたものから実施設計書を作成し入札、工事の実施となります。
- 問** 市道向原別府線の進捗状況について
- 答** 令和4年度の工事着工に向けて、令和3年度に路線計画変更に伴う事業用地の取得を完了したいと考えている。



吉村益則 議員

災害対応、環境整備事業について

- 問** 今回の豪雨をどの様に受け止めているか
- 答** 今回の豪雨災害の現状を踏まえ
- 1、災害体制の強化
 - 2、市民の安全確保の徹底
 - 3、災害を未然に防ぐための危険個所の把握と整備強化
- 以上3点を挙げて災害対策に取り組む。
- 問** 避難所のあり方は適切だったか
- 答** 湯平、東石松3などの指定避難所については危険個所等十分検討し対応をする。
- 問** 環境課の2事業における進捗状況
- 答** 汚泥再生処理センター整備事業は、本年度工事着工を予定している。新環境センター整備事業は現在各調査を行っているが市としては「ごみの減量化」を目標に各種取り組みを行う。
- そのほかに、「今後の由布の丘プラザの管理方針」、「湯布院地域複合施設の現状」について質問しました



長谷川建策 議員

新型コロナ対策、湯布院複合施設について、他

- 問** 一点目、新型コロナ感染防止対策、特に由布市経済の大打撃に対する対策について。
- 二点目、湯布院複合施設の運営と拠点施設としてどのような複合施設にしていくのか。
- 三点目、七月の豪雨災害について今後の復旧について聞きます。
- 答** (市長)感染拡大防止については、市民の皆さんの理解と協力です。せきエチケット・マスクの着用・三密を避ける。こまかな換気等・防災ラジオを通じ感染予防対策の徹底を呼びかける。複合施設については、市民の拠点施設として、庁舎機能と公民館機能が一つになり、住民の皆様が気軽に立ち寄りたくなる様な、愛される施設を目指してまいりたいと考えている。



佐藤孝昭 議員

由布市の令和2年7月 豪雨災害について

問 激甚災害指定を受ける程の想定外の豪雨災害で受けた、通常では対象外の簡易水道等の施設被害や民地での被害など災害補助支援策を考えないか。

答 水道事業の給水区域以外の補助は、市補助金条例や県補助金交付要綱で今回は約8割補助でき、該当水道施設であれば民地でも補助対象です。個人の財産の宅地等の被害は補助制度でなく融資制度等を活用してほしい。

問 先の執行部や先輩議員達が熊本大分地震の際、支援金を利用し創設した「宅地崩壊復旧支援交付」を今回も検討はできないか。これができれば、宅地崩壊や住家被害の恐れのある石垣や植木を普及する費用を支援できるが。

答 そうした要綱があるので、沿うものであれば検討します。

ほかに「7月豪雨の災害の対応や状況・ボランティア、災害ゴミ取組体制」「由布市都市計画マスタープラン」「由布市農業振興地域整備計画の見直し」「コロナ差別」等について質問しました。



加藤幸雄 議員

農業生産者に愛の手を 差しのべませんか？ 他

問 新型コロナウイルスによる自粛、豪雨災害、台風が農業生産者を苦しめています。生産者への支援はありますか。

答 (市長) 就農される方には条件がありますが、各種の補助金制度があります。

(農政課長) 災害復旧後の土壌作りや栽培に対する補助金制度があります。是非ご活用ください。

問 医療従事者や高齢者に対する支援はどのようなことを行っていますか

答 (市長) クラスター発生時に対応すべき備蓄用の衛生用品の購入費を9月補正に計上しています。高齢者に対しては活動支援給付金やフレイル予防にリハビリ専門職のお茶の間サロン等への講話を行っています。

(高齢者支援課長) 医療機関・介護・障がい者福祉と保育事業所に支援金と慰労金を9月補正に計上しています。



田中真理子 議員

防災・減災対策に ついて

問 7月豪雨での避難勧告や避難指示のタイミングは

答 警戒レベル3の避難情報からは、市町村の判断で発令。避難する際は、早い段階で避難情報を発することが重要と考えている。

問 7月豪雨の初動の対応について

答 7日の深夜から8日の未明に、短時間のうちに600件ほどの電話が入った。大雨情報発令と同時に災害対策準備室、警戒本部、7日5時対策本部を設置。各部、班に指示し対応を行った。自主避難所の運営については、開設から閉鎖まで、自治委員や自主防災組織の判断で行う。避難情報や気象情報等は、避難所で防災ラジオやテレビ、スマートフォン等で確認いただきたい。



坂本光広 議員

7月豪雨災害について

問 阿蘇野地区が2日間孤立しましたが、主要道路である田野庄内線の早期2車線化は

答 田野庄内線の改良については、県に毎年要望しております。地元も期成会を作り、土木事務所に現地まで来て頂き要望して頂いています。早急に取り組んで頂くよう引き続き要望します。

問 高津原川が氾濫しましたが普通河川で法定外公共物となりますが、条例を制定して川全体の復旧は、出来ないか

答 法定外公共物が被災した場合の復旧については、普通河川という形で条例を制定する、条例で決めるという作業が1つあると思います。近隣の竹田市等は、法定外公共物の災害時に係る要綱を定めていると聞いています。今後、要綱等を作る必要があると考えております。

その他、コロナ禍における経済対策、被災した市営住宅の対応について質問しました。



加藤裕三 議員

災害時の迂回道路、砂防ダム整備について

問 7月豪雨で被災した国道210号のバイパス、迂回道路等の対策は

答 国道210号は市民の生活、経済を支える重要な道路と認識している。7月豪雨により市民生活に大きな影響があり、今後は早期復旧と整備促進を強く要望していきたい。

問 今回の豪雨は大量の雨水と土石の流出により河川等に甚大な被害が発生した。砂防ダムの土砂排除及び設置計画は。

答 7月豪雨では多くの土石流が発生した。大分県と情報共有し堆積土砂の撤去及び砂防ダムの設置を要望していく。

その他の質問は「新型コロナウイルス感染症対策について」「子ども連絡所について」



甲斐裕一 議員

長期休校に関わる学校問題について、他

問 新型コロナ、集中豪雨による長期休校による変則的な学校経営により、児童・生徒・先生・保護者にとって大きな不安があったと思う。今後の学校経営方針も変える必要性があると思うがどうか。

答 児童・生徒・先生・保護者の不安はあったが、現在落ち着いており、学校現場は普段どおりの生活を送っている。今回の経験を踏まえ、今後においてはピンチをチャンスととらえ、子どもには生きていく勉強を、学校現場においては教育の力を入れていきたいと考えている。

問 高齢化する農業経営に対し地域農業経営サポート機構を設置したがその取り組み、閉耕進む耕作地や集落営農の高齢化に対し市の農業推進はどう図るか。

答 サポート機構は9法人で組織しており、市、県、JAが指導にあっている。閉耕耕作地、高齢化する集落営農については、高収益作物への転換として園芸作物の生産・推進に努めていく方針。



田中廣幸 議員

7月豪雨対応、コロナ禍における学校対応について

問 令和2年7月豪雨による市の対応は

答 災害による耕作放棄が発生することのないよう、市単独の制度の拡充や、農業者の負担減に向けた努力を行なう。又災害件数が多く、十分な連絡体制が取れなかったが今後は、職場の全員で情報共有する。

問 新型コロナウイルス第2波の学校対応は

答 課目により口元を見せる授業については職員はフェイスシールドを用い、一番後ろの子でも聞こえるよう声を発している。現在ビニール手袋をし児童・生徒は消毒作業を行っている。

問 今後の市民のコミュニケーションや地域活力に影響するコロナ禍をどう思うか

答 市民の皆様には、明るい未来を信じ、気持ちをひとつにして、共に、この難局を乗り越えていただきたいと思えます。



湊野けさ子 議員

コロナ禍におけるインフルエンザ予防接種について、他

問 インフルエンザは新型コロナウイルス感染症と症状の見分けが付きにくく感染を警戒して接種の希望者が増えると思込まれる。ワクチンは潤沢に配分されるか。市長の考えは

答 ワクチンの供給量は昨年比7%増。国の指針は漸次出され65才以上、医療関係者、基礎疾患を持つ方、妊婦、乳幼児から小学校低学年への接種を強く推奨されている。

問 安心して教育の現場で働く先生、医療従事者、保育士、福祉施設職員等に二週間に一度PCR検査する為自治体で検査体制を整えたら

答 安全に検査実施する場所の整備、検査実施者、検査後のフォローを行う実施者等の人材確保など困難な課題体制整備に時間と経費がかかると考え現時点では実施は困難と考える。



佐藤郁夫 議員

新型コロナウイルス対策、
豪雨災害対策に
ついて

問 コロナ禍の中で市経済再生の施策は

答 ①コロナによる事業者の経営状況の悪化に対して、自助努力でカバーできない部分に対しての支援。

②事業者が新たな生活様式に対するため必要な対策への支援。

③地域経済のV字回復を目指した活性化に対する支援。具体的には、市内事業者へ緊急給付金事業や、家賃補助事業を行いました。また、感染予防のため環境整備支援事業、プレミアム付商品券の発行事業、ゆふ宿泊応援割事業などに取り組んでいます。

問 7月豪雨災害対策として。国の補助がでない災害は、市単独で熊本・大分地震の際に設けた宅地崩壊復旧支援金制度を今回も適用できないか。

答 要綱は熊本・大分地震に限りとなっているので、どういった改正がいいのか検討を進めています。

その他、災害等の対策のため財源確保について質問しました。



鷲野弘一 議員

7月豪雨災害における
沢と中部林道の因果関係、
復旧について

問 7月豪雨で農地被害を起こした沢(用排水路)と中部林道の因果関係について、復旧は現状でなく改良復旧工事に対応できないか

答 (建設課長) 中部林道の因果関係は検討していません。ただ土砂の崩落や落石が、林道下部の溪流に流入、堆積し、豪雨により一挙に押し流されたと推測します。今後、砂防工事による対策工事ができないか、関係機関と協議して参りたいと考えております。

(市長) 災害復旧においては、沢を用排水路として耕地災害で復旧ができるということまでは確認ができております。

他に7月豪雨災害における対策本部、ボランティア受付、避難場所。民生委員担当窓口の確認と情報の伝達について問いました。



高田龍也 議員

農政事業、
令和2年豪雨復興に
ついて、他

問 熊本・大分地震復興時に、由布市観光復興事業費補助金として1億2千万円交付しているが、令和2年豪雨復興事業として、農地復旧工事費負担金を由布市独自の貸付制度を作り、貸付けは出来ないか。

答 (市長) 農地復旧工事費の補助率を9割まで嵩上げし、負担を少なくし営農を続けていただけよう努めている、貸付制度は独自でやるということとはできないことはない。

質問の詳細・その他質問は、由布市HPの由布市議会インターネット議会中継中の録画中継をご覧くださいませ。



太田洋一郎 議員

市道水地線の改修、
並柳の水源地周辺の
メガソーラーについて

問 国道210号線川西地区の道路陥没により通行止めによる交通規制に伴い水地線(湯平中川線)をう回路としたが、幅員が狭く支障をきたした。今後の有事を想定し改修が必要では。

答 (市長) 幸野・水地工区間の2.4キロは整備が完了しており、後の1キロの道路整備に、現在取り組んでいる。水地・中依区間5.2キロの計画は今のところ無いが、改良は必要と考える。

問 湯布院町並柳水源地周辺にメガソーラー開発が計画されている。由布院盆地の約8割を賄う同水源が、風水害等でソーラーパネルが破損し、有害物質等の流出で汚染された場合、市民の生活に多大な影響が生じると考えるが対策は。

答 (市長) 影響を及ぼす恐れがある場合には、水源保護条例に基づいて開発業者に指導する。

その他、都市計画用途地域の見直し、ワーケーション移住の推進等を質問しました。

令和2年第3回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願 R2 5	市道の認定について	鬼瀬自治区長 川野 徳昭	継続審査
請願 R2 6	市道認定に関する請願について	中村自治委員 園田 隆義 柏野自治委員 加藤 初男	継続審査
請願 R2 7	こどもルームはさまの整備・充実を求める請願書	はさま未来クラブ 理事長 山月 美江子	採択
請願 R2 8	狭間町に子育て支援の拠点を くすのき児童クラブの拡充を求める請願書	くすのき児童クラブ 代表 園田 暁子	採択
陳情 H29 8	私達は、市に対して、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。	「共進会跡地のメガソーラー建設に反対する会」 代表 江藤 和子	継続審査

賛否一覧表

(令和2年第3回定例会)

令和2年第3回定例会では議案12件・認定2件・諮問1件・発議1件について、全員一致で可決・認定・適任と答申されました。

編 集 後 記

早いもので季節は秋。今年も残すところあと2ヵ月となりました。日が暮れるのも早くなり、肌寒く感じることも増え、着々と師走に向かっていくことを実感しています。2020年を思い返せば数えきれぬ程たくさんの「非日常」を体験した年でした。議員もコロナ感染対策や自然災害復興復旧の対応で、あっという間に駆け抜けた特別な年でした。

議会は9月定例会市議会で、令和元年度決算をはじめ、コロナ感染症対策や経済回復対策、豪雨災害からの復旧・復興への取組など由布市民が日常を取り戻すため、重要な課題について活発な論戦が繰り広げられました。

本来、土壌豊かな由布市では秋には収穫祭イベントや農産物で「食欲の秋」を満喫できるのですが、7月豪雨や台風の災害に限らず、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少や、長雨日照不足による収穫量の減少など、自然災害により農作物や農家へもさまざまな被害が出ています。こんな時だからこそ、この災難を乗り越えた、おいしい米を食べ、梨を食べ、牛を食べ「食欲の秋」を楽しみながら、体重計に乗り肥え、町歩き運動をしながら、みんなで由布市を元気にしましょう!



佐藤 孝昭

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- ・初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

委員長 田中 真理子 副委員長 吉村 益則
委員 淵野 けさ子 佐藤 郁夫 長谷川 建築 田中 廣幸
坂本 光広 高田 龍也 佐藤 孝昭



このQRコードは市議会のホームページにつながります。

次の由布市議会は**11月30日(月)**より開会予定です(第4回由布市議会定例会)